

第25回(通算2686回)例会記録 2016年(平成28年)1月20日(水)

- 🌸 司会進行/大城 文博
- 🌸 ロータリーソング/えんどうの花・四つのテスト
- 🌸 ガバナー公式訪問
- 🌸 ゲスト/鈴木 喬氏(第2580地区ガバナー)
芝 久雄氏(第2580地区副幹事)
新里 順一氏(分区ガバナー補佐)
新里 孝氏(分区幹事)
- 🌸 メークアップ/羽地宏幸・佐久本 達・小林昌道
上勢頭 保・玉城守雄・渡久地明(計6名)

出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名
出席数 27名 欠席数 11名
出席率 71.05%(1月 通算出席率 68.42%)

本日のニコニコ

BOX ¥1,000(累計¥35,000)
コイン ¥12,347(累計¥73,161) **合計¥108,161**

- 😊 鈴木喬ガバナーをお迎えして 仁開 一夫
- 😊 1/13 新年会二次会残金

会長挨拶：新 賢次



本日はご案内の通りガバナー公式訪問でございます。先ほどはクラブ協議会という事で、各委員長の皆さんとそれからガバナーと意見交換、我々の現況を説明申し上げて、色々アドバイスを戴きました。大変有意義な時間でありました。それからロータリーの全体の方向も示唆して頂けたと思っております。今年度あと半年弱残された活動にぜひ生かして行って頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

これからガバナーのお話を頂戴するわけですが、ご紹介します。本をガバナーから頂きました。田中作次さん、皆さんご存知だと思いま

すが、RI 会長をされた方、日本では3人目という事で、この方が本をお書きになっています。私も読ませて頂きますが、読みたい方、事務局に置いておきますので、ぜひ読んで頂きたいと思ひます。私の挨拶は手短かにしてガバナーのお話たくさんあると思ひますので、この後をお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

ガバナー:鈴木 喬氏



今年度の K.R. ビンドラン RI 会長の方針は「Be a gift to the world」という事でございます。会長はスリランカコロンボ RC の会員ですが、たぶんヒンズー教でいらっしゃるかと思ひます。ヒンズー教の中にスダマの物語というお話があるようで、それは優しい心で人に何かを伝えていく、手を差し伸べるという、ある意味では仏教的な精神と相い合う内容かもしれません。

The Rotarian という英語の世界共通のテキストがございます。その中で毎月ラビンドラン会長がメッセージを伝えておられますが、10月号で私が感銘を受けた内容は、1992年にコロンボで自爆テロが朝8時頃起きた。当時9歳だった会長のお嬢さんが小学校に行く途中だった。たまたまペンケースを忘れたので、文房具店に寄った、寄った事によって自爆テロに巻き込まれなかったという事実があったそうで、結果としてラビンドラン氏が大きく動いたその1つは、国の有力な人としてスリランカがテロを無くし、観光立国を取り戻すという事を政府と一緒に動いたという事。先日東京のセミナーで一緒にしたんですが、その話をしたらぜひ日本から観光に来てくれと、スリランカは安全な所だよという事でございました。もう1点は当時9歳だったお嬢さんが巻き込まれないですんだと事がロータリアンとして、彼自身の心の中で青少年に対する心の思い入れが深くなったと、それがステップアップして最終的に現在の RI の会長になった時に大きなポリシーとして、青少年

に対する育成関係を強調していると、後ほど触れます。

ラビンドラン会長の今年度のテーマが大きく分けて2つございます。第1項目は4ポイントあります。1つは会員増強。2つ目はロータリー財団についての引き続きのご支援のお願い。ロータリー財団については2010年から3年間行われた未来の夢計画という RI とロータリー財団の変革プログラムによって、財団のポジションが変わりました。それまでは RI の下にロータリー財団がありました。現在はロータリー財団は RI と同格で存在するというポジションに代わりました。従って、当然ポリシーも変わってきた。今まではお金をただ寄付するだけ、どこにお金が行ったか分からない、それでいいのかという話もありました。現在は寄付した半分 50%地区に戻るという大前提ができて、それを使う事が地区補助金とグローバル補助金と2本立てになりました。それらを運用することにより、奉仕活動を委員会で見つけていく事に繋がる事をご理解頂きたいと思ひます。もう1つロータリー財団の中ではポリオについて、大きく言及しておりますが、ラビンドラン会長は2018年6月末をもって End Polio Now にしたいという事です。実際には2年半残っておりますが、2014年7月から2015年6月までの1年間、アフリカのナイジェリアからポリオの発症が止まりました。2015年7月、WHO のアナウンスでこのまま9月まで行けばナイジェリアからポリオが消えるという、大変大きなニュースになるんだという事で、実際にその通りになりました。現在あと2年間ナイジェリアはポリオが発症しないという努力をすることによって、ポリオから完全に解放されたというアナウンスが2年後に出るという事になると、残っている国はアフガニスタンとパキスタン、パキスタンが7月1日現在で約130名、アフガニスタンが約40名弱、11月末の統計では100を割っているかと思ひますが、このまま行きますと、2018年末にはあと2カ国もポリオから解放される可能性が非常に強いという事になります。1985年に国際ロータリーがポリオに取り組み始めまして今年で30年目、あと3年間、33年目で最終的に End を迎えたいという事です。

3つ目に公共イメージの向上、認知度をあげましょうという事で、東京6カ所、那覇に1カ所の大型ビジョンでロータリーとは何かという事を、2月23日のロータリー創立記念日にちなんで、地区のロータリーアピールを行っております。ラビンドラン会長がどういう意味で言っているのか、自分の周りのロータリアンじゃない皆様方に対して、ロータリーが何であるか、どういう奉仕活動をしているか、あなたも入って活動に参加しませんか。つまり会員増強に應用できるようにアピールをし

ましようという事を呼びかけております。

4つ目が DLP (District Leadership Plan 地区の改革) と CLP (Club Leadership Plan)。私どもの地区は1996年に RI が変えた組織で、それまで分区代理制というのがありました。それを改革して1999年からガバナー補佐制を正規採用に致しました。それから CLP については、私共の地区では昨年3月末で多摩分区のあるクラブが会員が4名になって、自主的に RI に脱退届を出してクラブが消失致しました。私共は何気なく聞き流してしまっただけです。しかし私はその後 PETS があり、地区研修協議会があり、具体的にいろんな地区のマスタープランを構築する中で、あのままで良かったのかなという事を、その時後から感じました。後からじゃ意味がないんです。前を向いて私とエレクトとデグジネイトの繋がりの中で、こういう事が万が一起きないように、起きてしまった時は地区でもガバナー、地区研修リーダーと中心になって、クラブが助けを求める前に手を差し伸べる組織作りをきちんと確認した方がいいという事を、私自身が自覚しまして、エレクトとも打合せしております。貴クラブは40名に近い会員がいっぱいあります。もうすぐ仁開委員長を中心にして55周年をおやりになる。ですから私は55周年で55人というターゲットを、あと2ヶ月弱だから申し上げられないですが、むしろ55周年は40名で、次の60周年を50名でどうでしょうかという提言を厚かましくもさせていただきます。

次にラビンドラン会長の第2項目は人材活用を含めたロータリーリソースを活用して下さい。人材が2つあり1つはインターネットです。ロータリーの人材の大きいのは地区の上に Japan (日本) があります。日本がある事をご理解いただければ十分です。次に人材活用のプログラムという項目があります。これは青少年交換、インターアクト、ローターアクト RAYLA、日本だけですけど米山記念奨学事業、この内インターアクト、ローターアクト、青少年交換、米山は充分ご理解いただいている。RYLA はロータリーヤングリーダーシップアワードの略で、日本語では青少年健全育成セミナーと名付けられておりまして、2003年頃から地区によっては取り入れている。私は今年度は RYLA の委員会を青少年奉仕委員会の小委員会として作りました。そして次年度以降に活動を繋げたいと思っております。RYLA の主旨はひょっとしたら非行に走ってしまうかもしれない青少年を健全なポジションに戻してあげるためにロータリーが活動しましょうと。そしてそうだとすれば非行に走らない彼らが将来日本の大きな人材になる可能性があるんだとすれば、一緒にロータリー情報を共有してもらい、将来はロータリーに入ってもらおうと、非常に Long distance のプログラムだ

石垣ロータリークラブ週報

<今月のロータリーレート \$1=120円>

Weekly Report No. 2577

国際ロータリー・テーマ

2015-16年度
会長テーマ

「奉仕・天資と文化」



世界へのプレゼントになろう

K. R. ラビ・ラビンドラン

会長:新 賢次 副会長:前木 繁孝
直前会長:上原 秀政 幹事:宮良 薫
副幹事:前原 博一 SAA・出席:羽地 宏幸
情報・会報:名渡山秋彦

創立記念日 1962年3月12日 (55周年)

2016年(平成28年)1月27日(水) 第26回 例会(通算2687回)



<今週の職場:社会福祉法人希望ヶ丘(宮良 榮子会員)>

<希望ヶ丘 基本理念>

- 一、私達は 暖かい家庭的な雰囲気を大切にします
- 一、私達は 常に自立生活の向上と安らぎのある生活環境づくりに努めます
- 一、私達は 地域福祉と共に高齢者のためのユートピアをめざします

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

と思いますが、活動を始めるという事だけご報告させていただきます。

それからインターネット、今年度は既に全ての情報はペーパーレスになっております。今年度以降はオンライン化していくと思います。既に昨年の1月からRIのクラブの人頭分担当金の支払いもMyRotaryを通して送っていると思います。その中でクラブにとって、会員にとって必要なのはMyRotaryに対する登録でございます。地区内については昨年までの登録は2年間16名だったようですが、今年度私はできるだけ大きな声で話した結果、現在390名までできております。私が目標としているのは地区3,000名として20%登録していただければ、全国トップになるかなと思っております。もし未登録の方はぜひ登録をして頂きたいと思っております。クラブ自体はロータリークラブセントラルという登録をして頂きたいと思っております。

最後に私の方針を述べさせていただきます。卓話を充実させた例会をして、親睦と友情を深めて下さい。そしてその中で奉仕活動を見つけて頂きたいと思っております。それから地区大会へのご参加をお願い致します。それから米山についての特別の思い入れがあります。三島にある米山梅吉記念館の新館創立式典の中で、梅吉翁の遺族代表で恵三先生の未亡人がスピーチをやった時に、その恵三さんは実は私の大学2年間教わった恩師だったと初めて気が付きまして、恵三先生は梅吉さんのご息だったと、それ以来米山に対しての想いを、勝手な事ですが想っておりますので、米山に対するご理解とご支援をお願いしております。

最後に4つの特別委員会を作りました。日韓友好、東京大会が9月4日に終了致しまして、それからソウル大会がございます。2番目に日台友好特別委員会、役目柄私が議長を仰せつかっておりますので、6月5日に金沢大会が開催されますので、これにもぜひご参加をいただきたいと思っております。3番目に希望の風、これもご理解頂いていると思っております。東北地方の子供達、親を亡くした子どもに対する特別な奨学金を差し上げたいという事で、有志によるご浄財を集めたお金だけで米山のようにやっております。既に3月でまる5年が経過する、残り20歳になるまでという前提で行きますと、あと15年間、希望の風奨学委員会を継続したいという事をご理解頂きまして、引き続きのご支援をお願いしたいと思います。最後にバギオについて特別委員会を作りました。フィリピンにあるバギオは聞いた事のない方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし現実にバギオについては日本のロータリーで活動しております。一昨年バギオから受け取っていた奨学金が福井にありました短期大学に入学させたんですが、その短期大学の経営が微妙に難しくなって廃校になりました事

で、受け入れ先がなくなりました結果、昨年の4月から地区でいろいろ協議した結果、那覇にあります石川学園が学生さんを預かって頂く事になりまして、10か月間の日本語研修を終わりますと、補助金が降りるという事で、既に終わりますと、今年2名のバギオの学生さんが石川学園で調理師部門で勉強に入っているという、そういう意味で沖縄分区の皆さんも沖縄のバスターの学校がバギオに密着して支援をして頂いている事をご理解頂きまして、委員会の役割はバギオの特別委員会が卓話に向うという事でございますので、卓話が開いている時にはぜひ読んで頂きたいと思っております。

以上大変駆け足で、雑駁ではございましたが、この辺で私の卓話を終わらせていただきまして、本日は沖縄分区でも傑出した活動をしている石垣RC、朝から参加させて頂き素晴らしい学習振り、ご活躍ぶりを勉強させて頂きました事に対する御礼と55周年そして60周年に向かって、素晴らしい前進をなさる事を御祈念申し上げて、私の本日の訪問のつたない卓話とさせていただきます。本当にありがとうございました。

～例会風景～

